

遠地長期避難者に対する受入側の支援方法(その1)

-東京都江東区「東雲住宅」における自主活動-

会員種別 ○永井健太郎*
同 森本健介*
同 倉持康平**
同 志村秀明***

遠地避難者 長期避難者 受入側の支援
支援方法 東雲住宅 避難者の自主活動

1. はじめに

1-1 背景と目的

我が国は、東日本大震災のような大災害が発生する可能性があり、それにより遠地での長期におよぶ避難者が大量に発生することが予想されている。現に福島県では、福島県第一原子力発電所の事故により、多くの住民が遠地での長期におよぶ避難を余儀なくされている。遠地かつ長期の避難状況では、避難者の地元自治体の支援が届きにくく、受入側の支援が必要である。遠地長期避難であっても、避難者が自主的に避難生活を維持・向上させるような受入側の支援方法について検討するための知見が求められている。

そこで本稿では、東日本大震災と福島県第一原子力発電所の事故により、多くの遠地長期避難者が避難生活を送っている東京都江東区にある国家公務員宿舎「東雲住宅」(以下：東雲住宅)を事例として、遠地長期避難者に対する受入側の支援、及び避難者が避難生活の中で始めている自主活動について明らかにする。

1-2 研究の方法

本稿はヒアリング調査^{注1)}に基づき、東雲住宅の避難者に対する受入側の支援と東雲住宅の避難者が避難生活を送る中で始めている自主活動を明らかにする。なお本稿では、受入側を「避難者を受入れる地域(住民・公益法人・民間事業者・自治体・社会福祉協議会等)」とする。

1-3 事例の概要

(1) 江東区東雲地区(図1)

東雲住宅は、東雲1丁目にある36階建の国家公務員宿舎で、2011年3月11日の東日本大震災発生後、同年4月頃から多くの遠地長期避難者が入居している。

(2) 江東区への避難状況

2013年6月30日現在、福島県からの避難者を中心とする649世帯、1,325人が避難している江東区は、都内で最も避難者数が多く、江東区への避難者の約9割が東雲住宅に入居している^{注2)}。

(3) 東雲住宅の概要と避難状況(図2)

東雲住宅には、900の住戸があり、うち623戸を応急仮

設住宅として東京都が財務省から借上げている。避難者数は、福島県避難指示区域自治体^{注3)}から約8割を占め、そのほとんどが浪江町、南相馬市、富岡町からである。年齢別避難者数では若い世代が多い(2013年1月現在)。

2. 避難者に対する受入側の支援

2-1 支援組織(図3上)

支援組織は全部で77団体確認できた。支援組織は「周辺住民系」、「公益法人系」、「民間事業者」、「自治体」、「社会福祉協議会」(以下：社協)に大きく分類できる。

2-2 支援内容(図4左)

支援は、「物資提供支援」、「生活支援」、「娯楽提供支援」、「交流支援」、「情報提供支援」の5つに分類できる。

2-3 支援の変遷(図4右)

「物資提供支援」は、初期に多かったが、その後減少した。「生活支援」、「娯楽提供支援」、「交流支援」、「情報提供支援」は継続的に行われている。

3. 避難者の自主活動

3-1 自主活動の内容(図5左)

自主活動は、「イベントへの参画」、「交流会の開催」、「制作・語学教室の開催」、「親子イベントの開催」、「会報誌の発行」、「地域清掃」、「その他」の7つに分類できる。

3-2 自主活動の変遷(図5右)

避難者の自主活動は、2011年9月頃からは行われるようになった。すべての自主活動が継続して行われている。



図1 東京都江東区東雲地区

3-3 自主活動組織(図3下)

自主活動を行っている組織には、避難者交流組織と避難者有志組織がある。また唯一の自治会である「富岡町自治会」がある。

4. まとめ

本研究では以下のことを明らかにした。

・受入側の支援では、基本的な生活を可能にするための「物資提供支援」等が避難生活の初期に行われ、「生活支援」、「交流支援」、「情報提供支援」が継続的に行われている。多様な支援組織が多岐にわたる支援を行っている。

・避難生活の比較的初期から、避難者同士の交流を図る自主活動が行われている。その後、様々な自主活動が始まり継続している。避難者の自主活動組織には、避難者交流組織と避難者有志組織等がある。

注釈

注1)「東雲の会」及び江東区社協・被災者支援担当課、ワーカーズコープにヒアリング調査を行った。主に、「東雲の会」代表A氏のスケジュール帳に基づき分析した。更に、「東雲の会」役員のB氏、江東区社協・被災者支援担当課、ワーカーズコープに補足調査を実施した。調査期間は、2012年4月～2013年11月。

注2)参考文献1)の全国避難者情報システムにより各自治体が集計したものによる(2013年6月30日現在)。

注3)南相馬市、田村市、楡葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町、飯館村、川内村の2市5町2村を指す。

参考文献

1)全国避難者情報システムウェブサイト、江東区への避難者数の調査、
http://www.soumu.go.jp/menu_kyotsuu/important/kinkyu02_000082.html

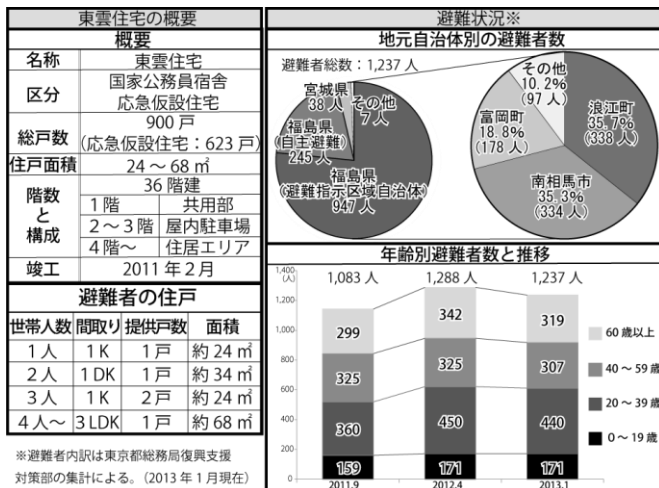


図2 東雲住宅の概要と避難状況

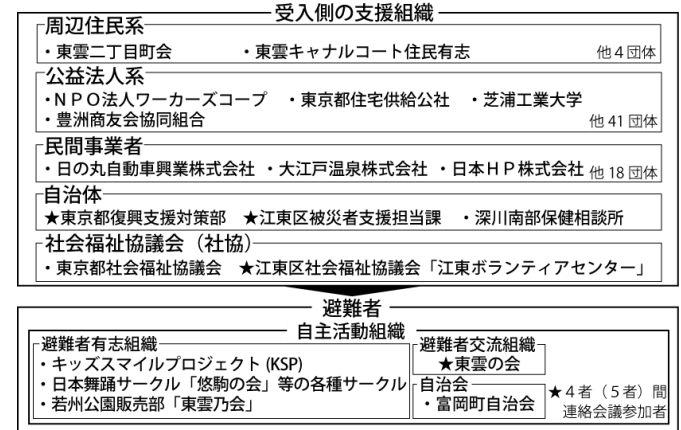


図3 受入側の支援と避難者の自主活動

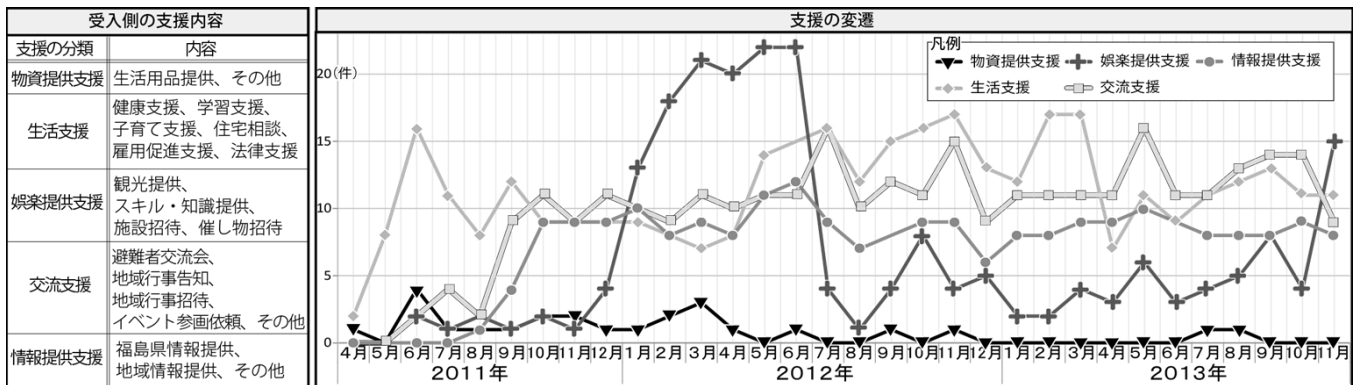


図4 受入側の支援内容と支援の変遷

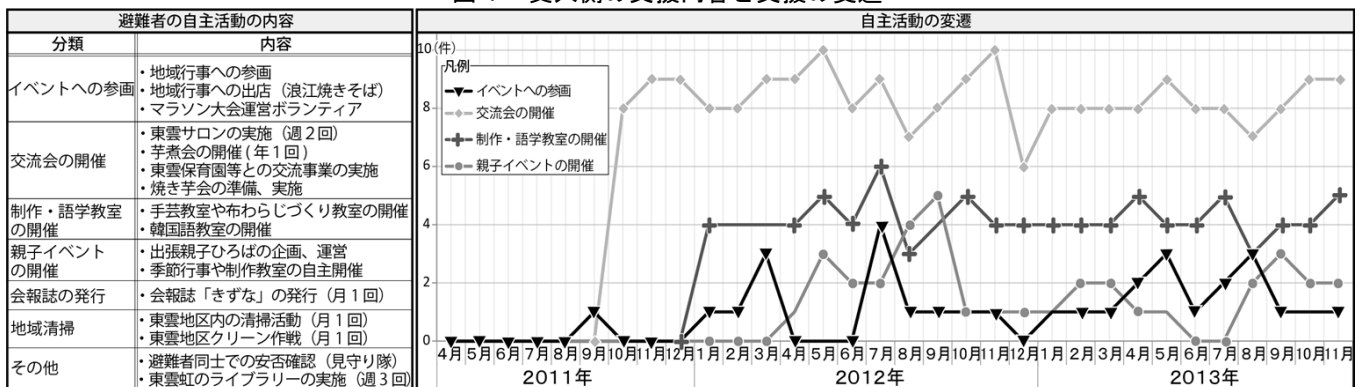


図5 避難者の自主活動内容と自主活動の変遷

*芝浦工業大学大学院理工学研究科建設工学専攻 修士課程

**玉野総合コンサルタント

***芝浦工業大学工学部建築学科 教授・博士(工学)

*Graduate School, Shibaura Institute of Technology

**Tamano Consultants

***Prof. Dept. of Architecture, Shibaura Institute of Technology